

倫理学の主な立場

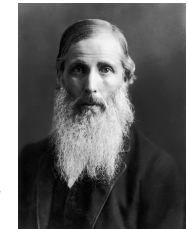
余談

なぜ女性にだけ貞操が求められるか

- 人間の子供の養育には、男女ともに大きなコストがかかる（財産も相続させる）
- 女性は自分の子供が自分の子どもだと確信できるが、男性は不確実
- → 女性の子供が配偶者の子供であることを確実にする必要がある
- → 法によって規制する、女性の美德として求める



デビッド・ヒューム
1711-1776



ヘンリー・シジウィック
1838-1900

現代の進化生物学・ 進化心理学

- 男女ともに配偶者の浮気を検知し防止しようとする心理的メカニズム（嫉妬、鬱、怒り、攻撃など）を進化させてきた
- （男性）他の男の子供を育てさせられるのは不利益（子孫を残せない）
 - → 身体的浮気を強く嫌う
 - → まわりの人々（特に男）になめられると損が大きいので報復しようとする
- （女性）他の女に資源（お金、エネルギー）を使われるのは不利益（自分と子供にうけとる資源が減る）
 - → 配偶者の一時の体の浮気より、他の女との強い絆の方が危険、悪い噂をながしたりして対抗する



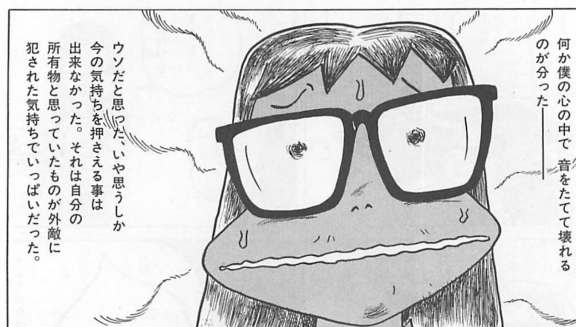
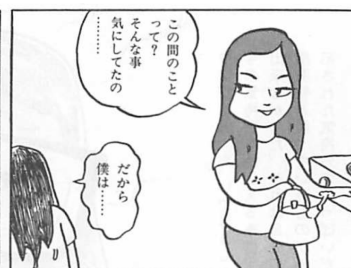
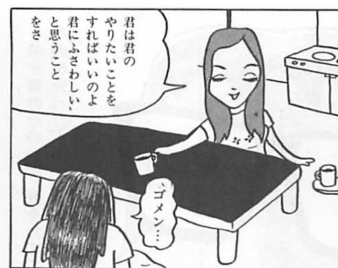
『利己的な遺伝子』で有名な
進化生物学者
リチャード・ドーキンス



進化心理学者
デヴィッド・バス

みうらじゅんの名作『アイデン&ティティ』（映画もある）





スカーレットさんの 悩み

- 事実に関する不確かさ
- 原則・ポリシーの問題

表1 スカーレットのリスト（想像図）

Pro	Con
夢のような一夜	知れば夫が悲しむ
ブラッドの楽しみ	ブラッドのスキャンダル
たまにはワンチャンもよい	「ビッチ」になってしまう
ブラッドはさみしがっている	「浮気」である
夫とはできないことができる	実は変態的な行為をするかも
ブラッドはイケメン	バレる可能性
これからの自信になる	性病の危険性は？
バレない	新型コロナウイルスの危険がある
一生の思い出	あとで後悔しそうだ
ブラッドのお役に立てる	
.....	

利己的な理由と 道徳的な理由

- 理由の一部は、それぞれポリシー・原則（「浮気はしてはいけない」）
- どの理由にどれだけの重みを与えるか？ = ポリシー・原則の問題

- 利己的な理由 = 自分の利益や欲望にもとづいている
- 道徳的な理由 = 自分の利益や欲望を離れた理由

倫理学の主な立場

利己主義	自分の利益を最優先することが正しい／それでかまわない 自分の幸福（快樂？）がなにより大事 それ以外は考えない
相対主義 主観主義	なにが正しいかは社会によってさまざま なにが正しいかは人それぞれ
功利主義 （帰結主義）	結果として皆が幸せになることを めざす。
非帰結主義 義務論・規則主義 カント主義	結果より、正しく定められたルールが大事。 いろんな種類がある
徳倫理学 アリストテレス主義	ルールや個別の行為ではなく、 人の性格や美徳が大事
無道徳主義 ニヒリズム	道徳なんて気にしない 道徳なんて無駄

相対主義

- ・ 相対主義＝なにかに依存して変化する
- ・ 倫理学上の社会／文化相対主義 ＝ よいわるい、正不正は社会／文化に依存する
- ・ 倫理学上の主観主義 ＝ よいわるい、正不正は個人の観点・価値観・感情・考え方に依存する（相対主義の一種といえる）

浮気・不倫の代償

- ・ 名誉殺人：世界各地。婚外性交渉、婚前性交渉、同性愛、私生児の妊娠、家族の同意のない結婚などを理由にした私刑（リンチ）。イスラム、ヒンドゥーなどに多いが、西洋でも以前は行われていた。
- ・ イスラムのジナ：婚外性行為、婚前性行為に対する罰。石打で死刑、鞭打ち100回など。

聖書 「申命記」

- ・ 「男が人妻と寝ているところを見つけられたならば、女と寝たその男もその女も共に殺して、イスラエルの中から悪を取り除かねばならない。」（申命記22:22）

聖書 「申命記」

- ・「ある男が婚約していない処女の娘に出会い、これを捕え、共に寝たところを見つけられたならば、共に寝た男はその娘の父親に銀50シュケルを支払って、彼女をその妻としなければならない。彼女を辱めたのであるから、生涯彼女を離縁することはできない。」

- ・ 相対主義によれば、その社会が悪いといえればそれは悪い、よいといえればよい
- ・ 現代では「法律が善悪を決めている」という考え方にも近い
- ・ しかし、法と道徳は区別すべき
 - ・ なぜ法はそうあるべきか
 - ・ 法に反することは常に悪か
 - ・ 法・慣習を批判する視点がほしい

アモラリスト 無道徳主義者 ニヒリスト

- ・ そもそも道徳のことなんか考えない！（無道徳主義）ルールになんか縛られません！
- ・ 道徳や他人のことを考えなきゃならないか考えるのも面倒だから考えない！ソクラテスあっちいけ！
- ・ おれは今好きなようにこの一瞬を生きる！（刹那主義）
- ・ そもそも人生とか世界とかにはたいした価値はないのだ！……（ニヒリズム・虚無主義）

無道徳主義・刹那主義は フィクションでは大人気

- ・ 『ドン・ジョヴァンニ』、『カルメン』、19世紀のアーティストたち、ボヘミアン、『ラ・ボエーム』
- ・ カミュの『異邦人』。ママが死んでしまったのでなにもかにもいやになり太陽が黄色かったのでアルジェリア人を適当に殺して死刑になるけど後悔しません！僕には何も重要ではないのです
- ・ キーンの「ボヘミアン・ラブソディー」♪
Nothing really matters to me～！
- ・ パンクロッカー、ヒップホップラッパー



無道徳・刹那主義は

危いのでやめましょう

- ・ 実際に無道徳・刹那主義で生きるのはむずかしい
- ・ というか、めちゃくちゃなのですぐにお金なくなったりドラッグや酒で死んだり、他人とトラブル起こして殺されたりするのでやめましょう
- ・ ドラッグはだめ！ぜったい！

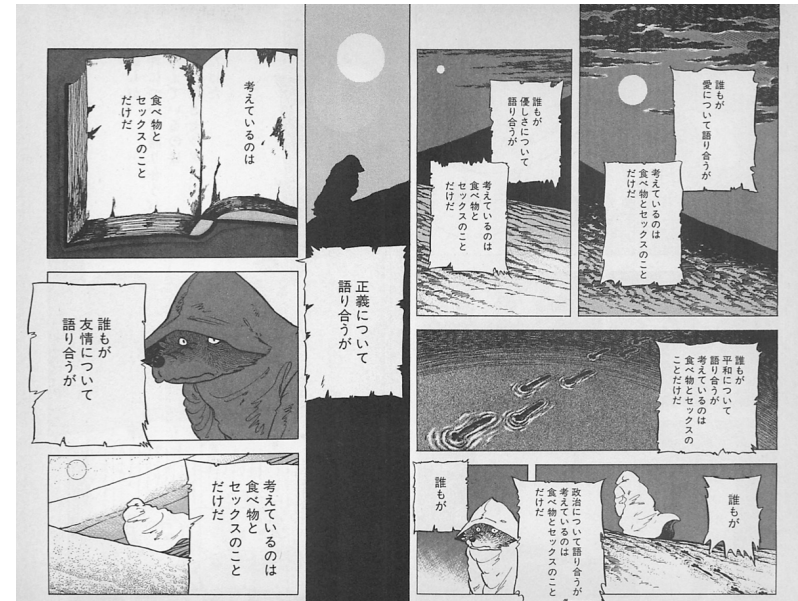
利己主義

- ・自分の欲求や利益が第一（アモラリストに近い立場になる）
- ・他人の利益などに対する配慮は、自分の利益になるときのみ考える。
- ・→ 右はジョージ秋山『Who are You?』の毒薬仁先生
- ・ただし、毒薬さんは「人間はこう生きるべきだ」と人生についてはっきり考えた上で発言しているので、単なるめちゃくちゃな人々とはちがう

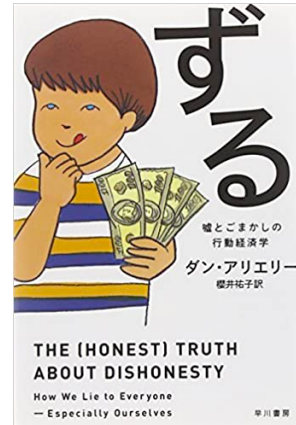


利己主義

- ・「欲望のままに生きるのが真実（ほんとう）だ！」という主張の背景には、しばしば「実際にはみんなそうやって生きているのだ！」という発想がある
- ・このタイプの「みんな自分の利益しか考えていないのが**事実だ**」というタイプの主張は、心理学的利己主義（心理学の主張としての利己主義）と呼ばれる
- ・「みんな自分の利益だけを考える**べきだ**」は「倫理的利己主義」（倫理学の主張としての利己主義）



小学生のトムは、友達のもっているボールペンを盗んで使っていたが、見つかって親に連絡された。父親はトムに懇々と説教をして、2週間の外出禁止を命じた。「トム、友達のを盗むなんてなんてことをしたんだ。パパは本当にはずかしいよ。それにボールペンならパパが職場から何本でももってくるのに。」



利己的にうまく生きるのはむずかしい

- ・「合理的な」選択とは事実と論理にもとづいた選択
- ・期待効用理論：合理的には、期待値と確率を考慮するべきだ
 - ・期待される効用 = (確率a × 効用a) + (確率b × 効用b) + ...
 - ・スカーレットの利益 = (ばれない確率 × 浮気の楽しさ) + (ばれる確率 × ばれたときのやばさ)
- ・浮気の効用（楽しさ）はどれくらい？浮気がバレる可能性はどれくらい？バレたときどうなる？

長い目で見た利益

- ・近視眼的な利己主義は今の自分の利益だけを考えるかもしれない
- ・しかし今の自分の利益のために将来の自分の利益を損なうのは不合理
- ・「自分の利益」 = 長い目で見た自分の利益。しかしどこまで考える？
- ・将来の利益は現在の利益より価値が低い。どれくらい低くみる？

合理的利己主義者

- ・「自分は（自分の得にならないなら）道德にしたがう理由はない」が、他人はぜひ道德にしたがってほしい、私に気をつけてほしい、と考える人もいる
- ・**合理的利己主義**「他人はどうあれ、私は自分の利益を第一に考える、得になるなら道德的なフリもするよ！見つからないなら「悪い」こともする。他人にはもちろんおすすしめない。ぜひ道德的に生きてほしい。みなさん、道德的になりなさい。そしてこのことみなさんには秘密にしておきます」
- ・倫理学でかなり強力な立場。これをどうやって論破するかが倫理学の課題（「なぜ道德的であるべきか」問題）



他人の利益・社会のルールを 配慮する立場

- ・ 帰結主義：功利主義
- ・ 非帰結主義：カント主義その他いろいろ

帰結主義

- ・ 帰結主義。行為や選択（あるいはルールや社会制度）は、それが最善の結果を生むときに正しい
- ・ 「最善の結果」を、「より多くの人が幸福になる」「不幸が減る」「全体の幸福が最大に、不幸が最小に」などと考えると、功利主義とよばれる。
- ・ （功利主義は自分の幸福・不幸ではなく、全体の幸福で判断することに注意）



代表者のベンサム
1748-1832

スカーレット問題を 帰結主義で考える

- ・ 帰結主義の立場をとれば、浮気してもよい、すべきだと考えられる、か。
- ・ 誰がどんな影響を受けるか？
- ・ スカーレットの満足/幸福、ブラッドの満足、夫には影響がない……

	ブラッドと 浮気する	浮気しない
スカーレット	50	-10 (ちょっと残念)
ブラッド	20	-5 (他を探す)
夫	0 (知らない)	0 (知らない)
合計	70	-15

	ブラッドと 浮気する→バレル	浮気しない
スカーレット	-200	-10 (ちょっと残念)
ブラッド	20 (逃げる)	-5 (他を探す)
夫	-500	0 (知らない)
合計	-680	-15

ふたたび期待効用

- 確率が問題になるときは期待効用 (Expected Utility) を考える。フォンノイマン・モルゲンシュテルン効用関数が有名
- 期待効用 (期待値) = 効用 × 確率。
- 浮気がバレル確率が1/10とすると？
- 利己主義者は自分だけの期待効用を考え、功利主義者は関係者全員の期待効用の合計を考える

要求が高すぎる？

- しかし、自分の幸福も他人の幸福も同じ価値があると考えるのは功利主義はたいへんすぎる？
- 自分や自分のまわりの人の利益を少し優先してもかまわないのではないか？
- そもそも、自分の幸福と他人の幸福の量など比較できるのか？ (対人間比較の問題)

帰結主義の難しさ

- 帰結主義は一見シンプルだが、ある行為の帰結を正確に判断するのは現実的には難しい
- 原理的には関係者に影響するすべての帰結を考慮。慎重に計算する必要がある。冷静さ、公平さと時間が必要
- 実際には人間には、判断を自分に有利にするバイアスがあるし、時間や情報も足りない！

- ・危険はどれくらいか。浮気がバレることはないか。他のリスクは？
- ・罪悪感を感じるようになるか？
- ・浮気が当人の考え方や感じ方に与える影響はないか、それまで好きだった旦那が急にみすばらしく感じたりしないか？自己評価（自信）は高まる？下る？
- ・夫婦関係にまったく影響がないということはあるだろうか。etc.
- ・「帰結をすべて評価する」のは困難。

規則功利主義

- ・情報を集めて慎重に計算する必要がある
- ・→ 時間がないとき、情報が足りないとき、冷静さを失なってるときは正しい計算ができない
- ・→ そのときどきで功利計算するのは危険
- ・→ まえもってだいたいうまくいくルールを定めておいて、それにしたがう方が長い目ではうまくいく
- ・「チャライ男から誘われてもついていくな！」「簡単にはセックスするな！」「
- ・こうした考えかたは「規則功利主義」と呼ばれる（⇔ 行為功利主義、いちいち効用を計算する立場）

非帰結主義≡義務論

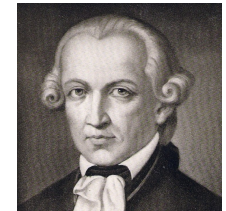
- ・帰結主義の判断は世界・社会のあり方（事実）に大きく依存する。あやふやなもの？
- ・もっとしっかりした規則がほしいと考える人々がいる
- ・結果がよくてもしてはならないこと（義務）があり、結果が悪くてもしなければならないこと（義務）がある
- ・結果の善し悪しとは独立にルールが大事
- ・「汝殺すなかれ」「嘘をつくな」というルールが理性で発見できるとか、神の定めたルールだとか、様々な種類がある



代表者のカント
1724-1804

非帰結主義・義務主義 規則主義

- ・「帰結」のよさから考えるのではなく、規則（ルール）を重視する考え方がある
- ・18世紀ドイツの哲学者カントが最も有名。
- ・人間は理性によって自分がなすべきこと、なすべきでないことを判断できるはずだ！
- ・（例）「うそをつくな」「人に危害を加えるな」
- ・←「みんながそうすることを認めることができるか」という想定をすると判断できる。

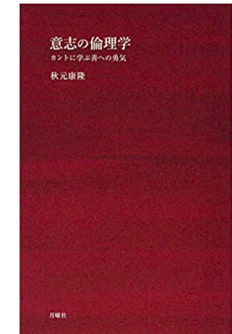


カントの「無条件命令」

- ・ 道徳は「定言命法」＝ 無条件の絶対的命令であるはずだ
 - ・ 道徳は「もし幸せになりたいなら～しろ」のような形ではなく、「無条件に～せよ」の形で表現される
- ・ こうした道徳の命令は、理性によって各自が発見することができるはずだ
- ・ 「あなたの行動指針に皆が従うことを望めるように行為せよ」
- ・ 「人を単なる手段として扱わず、常に同時に目的として扱え」

普遍的法則（法）

- ・ 私の行動方針（格率）「都合の悪いときには約束を破る」
- ・ みんなが私の行動方針にしたがうことを私は望むことができるか？と考える
- ・ みんなが「都合の悪いときは約束を破る」とすれば、約束をする意味がなくなる
- ・ 「都合の悪いときには約束をやぶってよい」は普遍化不可能→ 義務に反する
- ・ → 約束は都合に左右されずに守らねばならない



非帰結主義・規則主義

- ・ おそらく浮気はどうしても嘘やごまかし、裏切りを含むことになる
- ・ 結婚は浮気しない契約なのか？
 - ・ カントは結婚を「性的能力の独占的利用契約」と考えた。
→ 「他の人とセックスしない」という約束が結婚



批判

- ・ カント「天崩るるとも正義なされるべし！」
（世界が滅ぶとしても正義はなされなければならない、犯罪者は必ず罰しなければならない）
- ・ ← 正義も大事だけど、人間の幸福や生命はもっと大事では？
- ・ 「人を助けるために嘘つかなきゃならない場合もあるでしょ？」

効用主義・義務主義 両方に対する不満

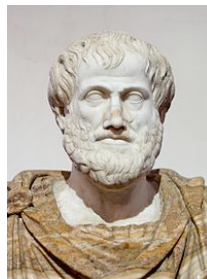
- そんなにルールだの原則だのを考えたり、帳面に計算したり、人間としておかしいのではないか？

人間関係・社会関係はもっと 複雑で微妙

- 友人が病気になり、あなたはお見舞いに行く
- 友人「どうしてわざわざお見舞に来てくれたの？」
- カント主義者「それが友人の義務だからさ、理性がそう命じているんだ」
- 功利主義者「効用計算したら、それが関係者の効用を最大化するから。僕はすこし面倒だけど、君はうれしいだろう」

徳倫理学

- 行為やそのルールではなく、その行為が基づいてる、それぞれの人の性格、人格、品性が重要。
- 人間はさまざまな美德をもつ。正義、節制、思慮、勇気など。他にも誠実、謙虚、寛大、寛容、etc. 貞節、純潔なども美德と数えられることが多い。



アリストテレス
384B.C.- 322B.C.

徳倫理学

- 「この場でなにをするか」よりは「どんな性格の人か」が重要。
- 良い人、優れた人とはよい性格の人
- 美德を身につけ、悪徳を避け憎む人

- なにを重要な美德と考えるかは文化によって差がある
- 古代ギリシアの四元徳。「知恵」「勇気」「節度」「正義」
- キリスト教だと「謙虚」「貞潔」「勤勉」「慈悲」「忍耐」などが入ってくる
- 求められ賞賛される美德には、職業や社会的地位、性別などによって違いがあるかもしれない

• キリスト教の七つの悪徳

美德	悪徳
高慢	謙虚
怒り	忍耐
嫉妬	感謝
貪欲	慈善・寛容
色欲	純潔
暴食	節制
怠惰	勤勉

貞操と信頼

- 貞操は歴史的に女性に強く要求されてきた美德
- 「信頼できる」「誠実」は男女ともに人間関係において非常に重要な美德
- あこがれの俳優との一回の浮気によって、スカーレットは「浮気したことのある人」になるわけだが、それはスカーレットの自己理解（アイデンティティ）と人生においてどれくらい重要か

- 伝統的には「貞操」は女性にのみ求められた美德。性差別的？
- 「情熱的」「自分に素直」などは美德ではないか？
- 「どういう人物になりたいか」という個人の選択の余地が大きい？

- 「道徳的問題」について思い浮かぶ賛成・反対の「理由」は、どのような種類のものか。帰結主義（功利主義）的？義務論的？徳倫理的？
- 逆に、「道徳的問題」を帰結主義的に考えるとどうなるか（どういう結果が見込めるか）。非帰結主義の立場をとればなにを考慮するべきか。徳倫理学的立場だとどういう性格(美徳・悪徳)がかかわるか

まとめ

- 功利主義、義務主義、美徳主義
- 利己主義、無道徳主義
- 相対主義、主観主義
- いろいろ「主義」が出てきたが、考え方の特徴の短縮表現なので、暗記するのではなく、いちいち説明に戻ればよい